

## 鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻博士前期課程教育に関する三つの基本方針

### ○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

医科学専攻博士前期課程では、医学・医療に応用できる科学分野である医科学の知識を持ち、医療の質の向上や地域社会の健康と福祉の向上に貢献し、社会において先導的な役割を担う人材の育成を目指します。この教育目的を踏まえ、学生が所定の科目を履修し、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに修士（医科学、保健学）の学位を授与します。

1. 医学、生命科学、再生医学、保健学分野の深い専門的知識・技能を身につけ、心と科学の両面を理解し、俯瞰的な思考力で物事を考究できる能力を有している。
2. 高い倫理観を有し、学術や地域社会の発展に貢献することができる。
3. 国際社会や地域の医科学分野における様々な課題を発見・解決するための、分野横断的な知識に根差した思考力や研究力及びコミュニケーション力を有している。

### ○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医科学専攻博士前期課程では、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程・教育内容
  - ・生命科学、機能再生医科学、保健学に関する深い学識や基礎技術を習得できる専門教育科目とともに、医科学領域に共通する知識・思考力を習得し広い視野を身につける分野横断的科目等による体系的な教育課程を編成します。
  - ・高い倫理観を修得させるための科目、心と科学の両面を理解し俯瞰的な思考力を涵養する科目を基盤的教育科目として配置します。
2. 教育方法
  - ・適切な研究指導体制等により、高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を育成します。
3. 学修成果の評価
  - ・予め明示した成績評価基準に基づき、厳格な学修評価を行い、所定の評価基準に基づき、修士論文の審査及び試験を適切に実施します。
  - ・学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

### ○入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医科学専攻博士前期課程では、学力考査と人物評価により、次のような人を広く受け入れます。

1. 生命科学、機能再生医科学、保健学等の医科学に関連する領域において、学士課程相当の専門的知識・技能等を身につけている人
2. 医科学の各分野についての深い学識と分野横断的な広い視野を身につけることを志す人
3. 高い倫理観を身につけ、高度な専門性を要する職業を担うことを志す人
4. 医科学に関連する地域や国際社会の問題に挑み、これらの問題に対処するための高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身につけようとする人

## 鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻博士後期課程教育に関する三つの基本方針

### ○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

医科学専攻博士後期課程では、基礎医学の研究、疾患治療や健康に関する基盤研究、トランスレーショナル医学やイノベーションの創出を独立して行い、基礎医学や保健学の教員、企業等の研究者、医科学関連の起業家等を育成するという教育目的を踏まえ、学生が、所定の科目を履修し、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに博士（医科学、保健学）の学位を授与します。

1. 豊かな学識を有し、生命科学、機能再生医科学、保健学等の医科学分野の高度な専門的知識・技能を身につけ、自立した研究者としての独創的な研究遂行能力または高度な専門性が求められる職業に従事する卓越した研究能力を有している。
2. 社会的責任感に基づく高い倫理観を有し、教育、研究、医療、産業における指導と管理の役割を担い、人類、地域及び学術の発展に貢献することができる。
3. 医学や医科学関連分野の基礎と応用を俯瞰する広い視野を持ち、国際社会や地域が直面する様々な問題に対処できる専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を有し、専攻分野の研究、実践、開発を国際的に先導することができる。

### ○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医科学専攻博士後期課程では、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

#### 1. 教育課程・教育内容

- ・基盤的医学知識の修得と医科学研究における心と科学の両面の理解のための基盤的教育科目、医科学領域の豊かな学識や技能を習得するためのスペシャリスト教育科目・アドバンス教育科目を設け、体系的な教育課程を編成します。
- ・生命科学、機能再生医科学、保健学等を含む医科学領域で重要となる社会的責任感に基づく高い倫理観を身につけるための科目を配置します。
- ・実践的演習や特別研究により、医科学関連領域を俯瞰的に捉える広い視野や課題の発見や問題解決を国際的に先導できる能力を身につけるための科目を配置します。

#### 2. 教育方法

- ・複数教員の指導体制により、専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を備え、自立して独創的研究を遂行できる能力を育成します。
- ・学内外の先端研究者による講義・セミナーを通じて高度な専門知識を習得します。

#### 3. 学修成果の評価

- ・予め明示した成績評価基準に基づき、厳格な学修評価を行い、所定の評価基準に基づき博士論文の審査及び試験を適切に実施します。
- ・学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

### ○入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医科学専攻博士後期課程では、学力考査と人物評価により、次のような人を広く受け入れます。

1. 生命科学、機能再生医科学、保健学等の医科学に関連する領域において、学士課程及び博士前期課程相当の専門的知識・技能等を身につけている人
2. 医科学の各分野についての深い学識と分野横断的な広い視野を身につけることを志す人

3. 高い倫理観を身につけ、高度な専門性を要する分野で指導的役割を担い、人類、社会及び学術の発展に貢献することを志す人

4. 医科学に関連する地域や国際社会の問題に挑み、これらの問題に自立して対処するための、高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身につけようとする人